

令和5年5月 第1回定例庁議

1 開催日時 令和5年5月1日（月）午前9時30分～午前10時00分

2 開催場所 4階特別会議室

3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

5月3日・4日はお城まつりが開催される。総踊りを実施しないことを除けば、コロナ前の開催規模に戻るということもあり、沢山の方の来場が予想される。運営に従事する職員には、事故が起きないように気を配っていただくようお願いする。

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

なし

(3) 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

なし

4 その他

①大手町4街区再編整備スケジュールについて（都市計画課長）

（資料に基づき説明）

・懸案事項に生涯学習センターの耐震性能不足や老朽化について記載してあるが、解体工事が前倒しとなる想定があるのか。（ボートレース事業局次長）

→生涯学習センターについては、令和6年度末までの継続利用について特別委員会で承認をいただいている。解体工事の前倒しは想定していないが、老朽化等の理由により、期限を待たず利用ができなくなる可能性について明示するため、懸案事項として記載している。（市民生活部長）

②生涯学習センターの物品について（市民生活部長）

生涯学習センターは令和7年4月以降に解体を予定している。事務所として使用している部署や、設置している各課の物品については、移転・移動する準備をお願いしたい。

③あすチャレ！事業実施について（教育部長）

4月27日（木）に本島小学校・本島中学校で、パラアスリート講師による教育・研修プログラムあすチャレ！事業を実施した。あすチャレ！事業は、日本財団が開催している出前授業であり、日本財団と関係性の深いボートレース事業局の協力により実現した。パラアスリートの根木さんを招聘しての車いすバスケットボール体験や講話

等、障がいや多様性について学ぶことのできる貴重な機会を提供することができた。10月には綾歌中学校でも同事業の実施を予定している。今後も他部署と連携した取組を広げていきたいので、教育事業への協力をお願いする。

→3月にボートレース事業局でも従業員の研修のためにあすチャレ！事業を実施した。共生社会・多様性について学ぶことのできる優れた教育・研修プログラムであり、職員研修等にも活用できるものと考えている。実施を検討する際はボートレース事業局に声掛けいただきたい。(ボートレース事業局次長)

④新人レーサーのデビュー戦について (ボートレース事業局次長)

5月3日から開催する「創刊75周年スポーツニッポンカップ」では、香川支部所属の新人レーサー3名がデビューする。是非来場して応援いただきたい。

・今節のレース以降、しばらく本場でのレースが空くのか。(副市長)

→5月8日以降に照明塔の改修工事を行うため、約1か月間本場レースを開催できない。

⑤Gruun (グルーン) まるがめオープンについて

5月13日(土)にCOMMUNITY PARK Gruun まるがめをオープンする。前日の5月12日(金)にはオープニングセレモニーの開催を予定している。

⑥クールビズ実施について (市民生活部長)

メールでも周知しているとおおり、5月1日から10月31日までの期間、クールビズを実施する。職員に軽装勤務を促すほか、ノー残業デーの取組についても周知をお願いしたい。

⑦式典等での祝電披露について (市長公室長)

市主催の式典において、祝電披露の際に送り主の名前に敬称を付けていなかったとの指摘があった。職員が司会をする場合もあるので、祝電披露の際には配慮するよう周知いただきたい。

⑧定住自立圏構想にかかる連携市町間協議について (秘書政策課長)

4月13日にメールで依頼しているとおおり、定住自立圏構想の取組について連携市町と協議・検討のうえ、5月26日までに秘書政策課に回答様式の提出をお願いする。これまでの取組とともに、新たな取組についても積極的に検討していただきたい。

⑨民間企業・大学等との連携による取組の推進について (秘書政策課長)

(資料に基づき説明)

現在本市では、民間企業や大学等との間において包括連携協定12件、個別の連携協定7件を締結している。令和4年度の取組実績を示しているもので、引き続き積極的に取組を推進し、さらなる活用も検討いただきたい。

・相手側からの申し出による連携がほとんどであり、市側が受け身となっているように感じる。市からのアプローチはできているのか。(副市長)

→市からの能動的な動きができていないのが現状である。行政だけでは対応が難しい課題の解決に向けて、官民連携した取組を検討する場合には、政策マネジメント室まで相談いただきたい。既存の協定先の紹介、他の自治体の事例を参照しての新規の連携先の模索等、市からアプローチできるように対応する。

5 副市長から

連休に入り、会食の機会も増える時期であるが、交通三悪など職員の信用を失墜するようなことが起こらないよう、服務規律の確保及び綱紀粛正について、気の緩みがないよう再度職員に指導を徹底して欲しい。

6 教育長から

4月27日に土器川・YOU・遊フェスタを無事開催することができた。悪天候のため、26日から延期となったが、多くの子どもが参加することができ、大変感謝している。今後も引き続き教育活動への協力をお願いしたい。

7 出席状況

(1) 庁議構成者（第5条）

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	×
市長公室長	栗山 佳子	○
総務部長	七座 武史	○
健康福祉部長	奥村 登士美	○
市民生活部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	窪田 徹也	○
消防長	浪指 孝章	○
議会事務局長	渡辺 研介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長
総務部財政課長

徳 田 寛
高 倉 鋭 悟

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長

真 鍋 裕 章

市長公室秘書政策課政策マネジメント室長

宇 野 大志郎

市長公室秘書政策課主任

横 井 俊 介

市長公室秘書政策課主任

安 藤 悠 子